



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月13日

上場会社名 株式会社ベネフィットジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 3934 URL http://www.benefitjapan.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 寛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 松下 正則 TEL 06 (6223) 9888  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,876	34.5	301	67.3	301	67.3	205	67.9
2019年3月期第1四半期	1,395	6.4	180	4.0	180	4.8	122	△3.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 205百万円 (67.9%) 2019年3月期第1四半期 122百万円 (△3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	34.93	34.64
2019年3月期第1四半期	20.83	20.64

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	5,949	3,672	61.7	622.99
2019年3月期	5,423	3,513	64.8	596.06

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,672百万円 2019年3月期 3,513百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,438	18.1	454	7.6	455	7.6	312	10.2	52.95
通期	6,885	11.2	930	10.4	930	10.3	626	7.0	106.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	5,894,769株	2019年3月期	5,894,769株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	356株	2019年3月期	356株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	5,894,413株	2019年3月期1Q	5,887,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、『情報通信サービスを中心にお客様のライフスタイルをもっと楽しく便利に!』を経営方針として掲げ、一般顧客向けサービスを「ONLYSERVICE」と総称して、SIMカード、通信機器・コミュニケーションロボット及びコンテンツの中から最適なプランを企画し、総合的な通信サービスを提供しております。

外部環境においては、独自サービス型SIM（注）市場は、次世代技術である5Gへの移行や、IoT関連のデバイスの提供が本格期を迎えると見られ、更なる拡大が期待されております。また、ロボット産業は、特に、サービスロボット分野の成長が見込まれ、中でも、活用シーンが家庭・店舗・オフィスなど多彩であるコミュニケーションロボットが注目されており、今後の市場拡大が期待されております。

このような状況の中、当社グループでは、ショッピングモールや百貨店での顧客獲得活動やWEB販路の強化等により、四半期単位で会員純増数が過去最高となりました。ストック収入は、会員数を前連結会計年度に大幅に伸ばした結果、前年同期に比べ大きく増加いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は売上高1,876,640千円（前年同期比34.5%増）、営業利益301,189千円（同67.3%増）、経常利益301,334千円（同67.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益205,878千円（同67.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来、報告セグメントとして記載しておりました「契約加入取次事業」及び「天然水宅配事業」は量的な重要性が減少したため、「その他」に含めて記載しており、前年同期との比較は変更後の報告セグメントの区分に基づき記載しております。

## (MVNO事業)

MVNO事業は、当社グループにおける主力事業であり、ルーターとSIMカードをパッケージ化した「ONLYMOBILE」、コミュニケーションロボットとSIMカードをパッケージ化した「ONLYROBO」の端末販売及び通信サービスの提供を行っております。また、それらの付帯サービスとして、インターネットオプションサービスやコンテンツ等の「ONLYOPTION」の提供を行っております。

「ONLYMOBILE」につきまして、WEB販路代理店との取引拡大、「ONLYMOBILE Speedy nonstop100」などのヘビーユーザー向けのプランや「Only Customize Plan」の販売が好調に推移したことにより、大きく会員数を伸ばすことができました。

「ONLYROBO」につきまして、旧モデルの販売がほぼ終了し、シャープ社との協働によるタブレットと連動した当社オリジナルモデル版『ONLYROBO ロボホン プレミアム』の販売を本格的に開始しており、順調に会員数が増加しております。催事開催については、イベントスケジュールから来店予約が可能なWEBサイトの活用で、交通アクセスが良い大都市での催事への効率的な集客が可能となり、大都市を中心に開催機会を拡大させてきました。

人材の状況については、人材の確保が厳しい環境の中、4月に多くの新入社員を採用することが出来ました。採用基準の見直しやインターンシップを強化したことで、即戦力となる優秀な人材を多く採用出来たことが、販売数の増加に繋がりました。

保有会員については、前連結会計年度から取り組んでいる「つながるカスタマーセンター」の更なる品質向上、カスタマーセンターの人員強化やRPAの導入による顧客管理業務の効率化等、引き続き顧客満足度の向上に努めてまいりました。

以上のことから、当第1四半期連結会計期間末におけるONLYSERVICEの会員数は以下の通りとなりました。

	2019年6月末	2018年6月末	前年同月比
ONLYSERVICE総会員数	100,600人	76,400人	31.6%増
ONLYMOBILE	70,900人	45,600人	55.5%増
ONLYROBO	6,500人	3,500人	83.6%増
ONLYOPTION (※)	55,000人 (23,200人)	51,900人 (27,300人)	6.1%増

(※) ( )内の人数については、当社のONLYOPTIONのみを利用されている会員数となります。

その結果、売上高1,715,565千円（前年同期比40.2%増）、営業利益368,742千円（同72.2%増）となりました。

(その他)

その他については、主に天然水宅配事業とハウスベンダー事業を行っております。天然水宅配事業につきましては、営業活動を縮小しているため保有顧客数が減少しましたが、一方で顧客維持の管理コストや減価償却費が減少したため、営業利益は増加いたしました。また、ハウスベンダー事業につきましては、大型現場の受注があったことで売上高・営業利益ともに増加いたしました。

その結果、売上高161,075千円(前年同期比6.1%減)、営業利益37,813千円(同12.8%増)となりました。

(注) 独自サービス型SIMとは、独立系MVNOがSIMカードを活用し、独自の料金プランで様々な通信サービスを顧客へ提供する形態であります。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は5,690,064千円となり前連結会計年度末と比べ529,249千円増加いたしました。これは、主として割賦販売による割賦売掛金の増加434,368千円、金融機関からの短期借入金による現金及び預金の増加131,492千円等によるものです。固定資産は259,698千円となり前連結会計年度末と比べ3,418千円減少いたしました。これは、主として減価償却等による有形固定資産の減少1,810千円等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は2,245,965千円となり前連結会計年度末と比べ367,226千円増加いたしました。これは、主として短期借入金の増加530,000千円、未払法人税等の減少79,147千円等によるものです。固定負債は31,640千円となり前連結会計年度末と比べ118千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上205,878千円、配当金の支払い47,155千円等により、前連結会計年度末と比べ158,722千円増の3,672,156千円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	359,170	490,662
受取手形及び売掛金	565,350	579,384
割賦売掛金	4,247,865	4,682,233
商品	127,396	97,841
その他	26,992	27,879
貸倒引当金	△165,960	△187,937
流動資産合計	5,160,815	5,690,064
固定資産		
有形固定資産	30,230	28,420
無形固定資産	20,193	21,556
投資その他の資産		
その他	291,612	288,269
貸倒引当金	△78,919	△78,547
投資その他の資産合計	212,692	209,721
固定資産合計	263,116	259,698
資産合計	5,423,932	5,949,762
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	128,055	172,588
短期借入金	870,000	1,400,000
リース債務	1,440	482
未払法人税等	169,485	90,338
賞与引当金	52,521	38,041
役員賞与引当金	13,000	—
販売促進引当金	514	514
その他	643,721	544,000
流動負債合計	1,878,739	2,245,965
固定負債		
リース債務	2,731	2,611
資産除去債務	29,027	29,029
固定負債合計	31,758	31,640
負債合計	1,910,497	2,277,606
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	611,864	611,864
資本剰余金	235,244	235,244
利益剰余金	2,666,695	2,825,418
自己株式	△370	△370
株主資本合計	3,513,434	3,672,156
純資産合計	3,513,434	3,672,156
負債純資産合計	5,423,932	5,949,762

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,395,189	1,876,640
売上原価	518,222	670,036
売上総利益	876,967	1,206,604
販売費及び一般管理費	696,922	905,415
営業利益	180,044	301,189
営業外収益		
受取利息	57	38
貸倒引当金戻入額	345	372
受取事務手数料	120	94
その他	97	527
営業外収益合計	621	1,032
営業外費用		
支払利息	563	886
営業外費用合計	563	886
経常利益	180,102	301,334
税金等調整前四半期純利益	180,102	301,334
法人税、住民税及び事業税	52,121	92,120
法人税等調整額	5,351	3,336
法人税等合計	57,473	95,456
四半期純利益	122,628	205,878
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,628	205,878

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	122,628	205,878
四半期包括利益	122,628	205,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,628	205,878



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	MVNO事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	1,223,681	1,223,681	171,508	1,395,189
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,223,681	1,223,681	171,508	1,395,189
セグメント利益	214,184	214,184	33,533	247,718

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っている天然水宅配事業及びハウスベンダー事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	214,184
「その他」の区分の利益	33,533
全社費用(注)	△67,673
四半期連結損益計算書の営業利益	180,044

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計
	MVNO事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	1,715,565	1,715,565	161,075	1,876,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,715,565	1,715,565	161,075	1,876,640
セグメント利益	368,742	368,742	37,813	406,555

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っている天然水宅配事業及びハウスペンダー事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	368,742
「その他」の区分の利益	37,813
全社費用(注)	△105,366
四半期連結損益計算書の営業利益	301,189

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来、報告セグメントとして記載しておりました「契約加入取次事業」及び「天然水宅配事業」は量的な重要性が減少したため、「その他」に含めて記載しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。